

New Horizon – 歴史から未来へ –

Arts Maebashi 10th anniversary exhibition New Horizon: Beyond History to be Future



WOW 《Viewpoints》2022/アンドリュー・ピンクリー 《Stone Cloud》/写真家・蜷川実花の作品展より ※本画像の外部提供はご遠慮ください。

群馬県前橋市の公立美術館「アーツ前橋」は、前橋市中心市街地の商業施設を改修した美術館として、2013年10月にオープンし、今年で10周年を迎えます。

開館以来、「創造的であること creative」、「みんなで共有すること share」、「対話的であること dialogues」の3つをコンセプトに、市民とアーティストによる文化芸術活動の拠点として、多彩な展覧会や地域アートプロジェクトを開催してきました。また、街なかに立地していることから、アートによる賑わいの創出や、空洞化が進む中心市街地の活性化への役割も期待されてきました。

本展「New Horizon – 歴史から未来へ」は、これまで市民と共に歩んできたアーツ前橋の文化芸術活動を土台に、「次の10年」に向けて街づくりと美術館の新たな協働をひらくアート展です。

アーツ前橋をメイン会場に、今年5月に誕生した「まえばしギャラリー」などの最新アートスポットや、昔ながらのアーケード商店街、前橋の歩みを今に伝える歴史的建造物に、国内外から前橋に集結する31組のアーティストが、最先端のアートを展示いたします。

展覧会名：	「New Horizon（ニューホライズン）－歴史から未来へ－」
会 期：	2023年10月14日 [土] → 2024年2月12日 [月・祝]
会 場：	アーツ前橋と前橋市中心市街地（8～10会場）
主 催：	New Horizon 展実行委員会
監 修：	南條史生（アーツ前橋特別館長、前橋市文化芸術戦略顧問）
参加作家：	31作家（海外作家11組、国内作家20組）*2023年7月24日現在



左から／劇団「マームとジブシー」は市民参加型の演劇を制作中／群馬県庁昭和庁舎でプロジェクションマッピングの世界トップクリエイターが作品を上映予定／

デジタルスタジオ WOW inc.は銀座通りの空きビルに没入型アートを展開／世界的建築家・藤本壮介が手掛けたアートホテル「白井屋ホテル」のユニークな外観（写真：木暮伸也）／※本画像の外部提供はご遠慮ください

「New Horizon - 歴史から未来へ」展は、空き物件を活用した最先端の没入型デジタルアートや、歴史建築の新たな魅力を引き出すプロジェクションマッピング、アーティストと住民との共同制作など、前橋市中心市街地でアート企画をダイナミックに展開。街あるきと一体となったアート体験を創造します。

●本展の特徴1～5

1 国内外で活躍する現代アーティスト 31 組が前橋に集結。ローカルとグローバルが交流する。
2 美術館の企画展と地域芸術祭が融合。街を“回遊”するアート展で賑わいを創出する。
3 誰もが知るアート界の巨匠と、ストリートで注目される気鋭の若手が前橋で共演。
4 市民とアーティストが“ともにつくる”プロジェクトを展開。街の担い手を育成する。
5 まちづくりビジョン「めぶく。」が推進する現在進行形の開発とコラボレートする。

●3つのミッション

地域振興	アートと一体化した街を作り出し、魅力的な展覧会と各種プログラムによって、交流人口、定住人口を増やし、経済的にも前橋市の発展に寄与します。
人材育成	子供たちや市民には美術館が提供する多様なラーニングプログラムを提供し、創造的な人材の育成を図り、希望に満ちた未来を確信できる社会を構築します。
国際交流	美術館の活動を通して、地域から国外まで幅広いネットワークを構築し、前橋市が芸術・文化のハブとしても力強く存在する街としていきます。

前橋市のまちなか活性化を目指す本企画の趣旨にご賛同いただき、
ご支援・協賛を賜りますようお願い申し上げます。